

平成 27 年 2 月 定例 県 議 会（本 会 議） に お け る 答 弁 要 旨

（質問日：平成 27 年 2 月 19 日）

質問者 民主党 竹内 圭司 議員

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>6. 救急車の利用について</p> <p>(1) 救急患者を救急車から病院に迅速に引き継ぐために、どう取り組んでいくのか。</p> <p>(要望)</p> <p>救急搬送状況についてですが、身勝手な救急車の利用が増えていると言われていています。県内における平成 25 年の医療機関への救急搬送人員は 264, 224 人となっており、出動件数に対し、約 3 万人も少ない状況です。</p> <p>救急車を要請しなくてもいいような事例もあると聞いています。また、救急車が到着するものの、搬送先病院が決まらなく、待機時間が長いケースが多く見受けられます。救急車の中では救急隊員が、医師と病院への受入れを交渉しています。</p> <p>1 回 2 回の交渉で受け入れてもらえるのは幸いで、中には 5 回、10 回の交渉をしてようやく決まる。本県は全国平均で 44.1 分、全国平均より 5 分長く、ワースト 3 位でございます。今、質問で取</p>	<p>1 県では、これまで、「ちば救急医療ネット」を使った、救急隊に対する空きベッド情報の提供や、救急隊と医療機関との間で、患者搬送の調整を行う「救急コーディネーター」の配置などにより、病院に迅速に搬送するための対策を図ってきたところです。</p> <p>2 今後は、来年度に実施を予定している「救急搬送実態調査」において、病院との交渉状況などを詳細に分析し、課題を抽出するとともに、「ちば救急医療ネット」のシステム改善の検討などにより、救急患者のより迅速な搬送に取り組んでまいります。</p>	<p>副知事 諸橋 省明</p>

り上げさせて頂いている救急搬送時間が増えている、その内容は偶然にも、本日読売新聞千葉版にも掲載されました。御答弁ありましたように、県には「ちば救急医療ネット」があり、17年3月までに更新されるとのことです。是非、救急車の中の救急隊員と直接医師を繋ぎ、傷病者の動画や音声で、傷病者の状況を瞬時的に判断し、搬送先病院の選択をし、待機時間を少なくして頂きますよう、お願い申し上げます。

是非それを「ちば救急医療ネット」に組み入れて頂きますよう、要望いたします。また、海外には、スマートフォンやタブレット端末を利用した先進事例もあると聞きます。是非千葉県においてもよく研究をして、救急車オンラインシステム、そして病院等を結ぶ、こういったものを構築し、各市の救急搬送時間の短縮に役立つよう、要望いたします。

平成 27 年 2 月 定例 県 議 会（本 会 議） に お け る 答 弁 要 旨

（質問日：平成 27 年 2 月 19 日）

質問者 民主党 竹内 圭司 議員

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>6. 救急搬送状況について                      (2) 救急車の適正利用のため、                      県はどのように取り組んでいるのか。</p> <p>【要望】                      救急搬送状況についてですが、                      身勝手な救急車の利用が増えている                      と言われていています。県内における                      平成 25 年の医療機関への救急                      搬送人員は 264, 224 人とな                      っており、出動件数に対し、約                      3 万人も少ない状況です。                      救急車を要請しなくてもいいよ                      うな事例もあると聞いています。                      また、救急車が到着するものの、                      搬送先病院が決まらなく、待機時                      間が長いケースが多く見受けられ                      ます。救急車の中では救急隊員が、                      医師と病院への受入れを交渉して                      います。                      1 回 2 回の交渉で受け入れても                      らえるのは幸いで、中には 5 回、                      10 回の交渉をしてようやく決ま                      る。本県は全国平均で 44.1 分、                      全国平均より 5 分長く、ワースト                      3 位でございます。今、質問で取                      り上げさせて頂いている救急搬送</p>	<p>1 救急車は、限りある資源であり、重症者への                      速やかな治療や処置が必要とされるなど、真に                      緊急を要する場合に利用していただくもので                      あると考えております。</p> <p>2 このため、県では、国や市町村とともに、ホ                      ームページ・パンフレットなどを通じて、救急                      車の適正利用について、広く県民の理解と協力                      を呼びかけております。</p> <p>3 また、「どこの病院にいけばいいかわからな                      い」などの理由だけで救急車を呼ぶケースもあ                      ることから、県が設置した「ちば救急医療ネッ                      ト」により、救急当番医や夜間・休日急病診療                      所などの情報を県民に提供しております。</p>	<p>副知事                      高橋 渡</p>

時間が増えている、その内容は偶然にも、本日読売新聞京葉版にも掲載されました。御答弁ありましたように、県には「ちば救急医療ネット」があり、17年3月までに更新されるとのことでございます。是非、救急車の中の救急隊員と直接医師を繋ぎ、傷病者の動画像や音声で、傷病者の状況を瞬時的に判断し、搬送先病院の選択をし、待機時間を少なくして頂きますよう、お願い申し上げます。

是非それを「ちば救急医療ネット」に組み入れて頂きますよう、要望いたします。また、海外には、スマートフォンやタブレット端末を利用した先進事例もあると聞きます。是非千葉県においてもよく研究をして、救急車オンラインシステム、そして病院等を結ぶ、こういったものを構築し、各市の救急搬送時間の短縮に役立つよう、要望いたします。